



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第 36 回 通算 1107 回 平成 21 年 4 月 14 日 (火) 雨

ゲスト 財賀寺ご住職 西本全秀さん
 ビジター 豊橋 RC 3 名 豊橋北 RC 2 名 豊橋工業 RC 1 名 蒲郡 RC 2 名 豊川 RC 4 名
 出席報告 川淵啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	3/24 修正出席率
54 名	44+5 名	28 名	57.1%	91.7%

司会進行 大島嗣雄 SAA

会長の挨拶及び報告 大岩一仁会長 幹事報告 夏目雅康幹事

皆さん、こんにちは。本日は財賀寺での職場見学例会ということで、西本住職さんには、大変お世話を掛けます。先ほど頂きました精進料理も大変美味しく頂戴しまして、ありがとうございました。



4 月に入り新年度も始まりました。先週初めは入学式があり、新しい制服を着た学生を見かけたり、大きなランドセルを背負ったピカピカ新一年生を見かけて大変ほほえましく思いました。新聞テレビでは、各企業の入社式のニュースが流れ、大変厳しい経済状況の中でのスタートであると報道していました。厳しい状況ですが、下を向いていても前に進みませんので、明るい気持ちで前向きに皆さんで頑張ってください。今度の日曜日には、次年度の勉強会である地区協議会が名古屋で開催されます。我がクラブも、新年度に向けての準備がスタートしました。ピカピカ一年生のように希望をもって、ロータリー活動そして職業奉仕を進めていく事を願います。

次回例会について
 大岩会長杯取切戦参加のお願い

委員会報告

環境保全委員会（山田委員長）
 CO2 削減スタンプについて
 国際奉仕委員会（小野委員長）
 緊急支援物資募集のお願い
 親睦委員会（林委員）
 春の行楽の参加お願いについて

職場見学例会

委員長あいさつ 林博宣委員長

本日は、職場見学例会にご参加頂きましてありがとうございます。こちらの財賀寺は、我々のクラブとは縁の深いところでございます。創立 10 周年の記念事業で、こちらの仁王様帰郷運動を行ないました。当時、私は J C としてお手伝いをさせて頂きました。



地区の職業奉仕委員会からは、担当例会には卓話をするように言われております。本日配布しました資料は地区から頂いたものです。皆さん各自でお読み頂き、それぞれの職業奉仕について考えて頂ければと思います。

卓話 財賀寺ご住職 西本全秀さん

こんにちは。皆様方には、10年少し前にカムバック仁王様で、このお寺あげてお世話になりました。仁王様の前に皆さんが作られた土俵は今でも残っています。



仁王様につきましては、奈良の博物館に十数年置いてあった時は、完全な空調管理ですから、まったく痛むことなくしっかりと立っておりました。財賀寺に戻ってきましたら、湿気とほこりと風が当たって、修理をしたところが痛んでしまいました。木目を絵の具で書き、その絵の具が傷んでしまったようで、カビが生えてしまい、そのカビを払うので、その絵の具がとれて下地が出てしまい、まだらな感じになっているのが現状です。私共の仁王様の修理をされた小野寺さんという方が「あんなにすごい仁王様を修理させてもらいうれしかったけど、その後で、全国から仁王様ばかりがきて・・・」と財賀寺の仁王様がスタートだったようです。全国の仁王様が修理されて戻っていくのですが、同じように外に置くので、同じように痛んでいます。中におく仏像と同じような修理の仕方ではない修理の仕方を今後は開発しないとイケないと文化庁さんから聞いております。開発ができれば、もうすこし綺麗になる修理をしていただけないかと思っております。

財賀寺は、真言宗高野山をご本尊とする真言宗に属しております。平安時代のころは天

台宗だったのではないかと思っております。天台に関わるような仏像が一部残っております。本尊様は、千手観音様です。パンフレットにのっているのは、本尊お前立千手観音菩薩で、この後ろのお厨子が国の重要文化財で、このお厨子の中に入れておられるのが本物です。本尊様よりも、皆様方には文殊様の方が名が通っているかと思っております。



このお寺は、キャッシュはありませんが、歴史と境内の広さがあります。歴史は、神亀元年(724年)の1300年くらい経っているお寺です。昔は、この山一円が財賀寺でして、最近、豊橋で普門寺さんというお寺の発掘調査している方々が、この財賀寺の山中を歩いておられ、そこら中にお寺の跡があり、当時は大変な殷賑を極めたお寺だったと言われております。今では、境内だけが残っているのが財賀寺でございます。

桜の季節は終わってしまいましたが、表の方に、お釈迦様に似ているシャガという花が咲いています。お庭の方では新緑の季節で、私は秋の紅葉もけっこうだと思いますが、うちのモミジは、この新緑の方がより良いのではないかと感じております。森林浴だと思っ、若葉をご覧頂ければと思います。

私共、職業奉仕で言いますと、仏教徒としてお釈迦様と、お釈迦様の教え、お釈迦様の教団、仏法僧の三宝への奉仕、これが私共の務めです。仏様や仏教の教え等々に対する奉仕だけだと、仏教のためだけに世の中があるようになってしまうわけで、中国的に言えば、民の声が天の声という言い方もあります。仏教で言いますと、仏と衆生は一体であると考えます。すなわち仏様に奉仕をするということは、一般の多くの方々に奉仕をするという同じですので、皆さんに喜んでもらって何ぼということです。私は、このお寺を運営するに当たって、いつも皆さんに申し上げることは、このお寺は僕のものではない、僕はこのお寺の管理人である。お寺を好きなように使って頂きたいと言っております。

法事などでお話をするときに、お参りの中でしてはいけないお参りはありません。しなきゃいけないお参りもありません。法事もや

らなくても良いです。やった方が得ですかと聞かれれば、いろんな意味で得はあると思います。日本人はお参りをしたい人が大勢います。財賀寺にも初詣に大勢来られます。お参りをしたいという人がおられるときに、私共は、それを上手にバックアップする。上手に導き、そして共に楽しんで、喜んで頂いて、地元に戻られて元気になって、それぞれのところで頑張ってもらいたい、そういうことの応援ができればと思います。皆さんの後援をするところから、しいて言えば職業奉仕なのかと感じました。



財賀寺さんのホームページ

<http://www.ccnnet-ai.ne.jp/zaikaji/>

仁王様の前で集合写真撮影



林博宣職業奉仕委員長撮影

会報担当者：太田稔会員、樺山修一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。